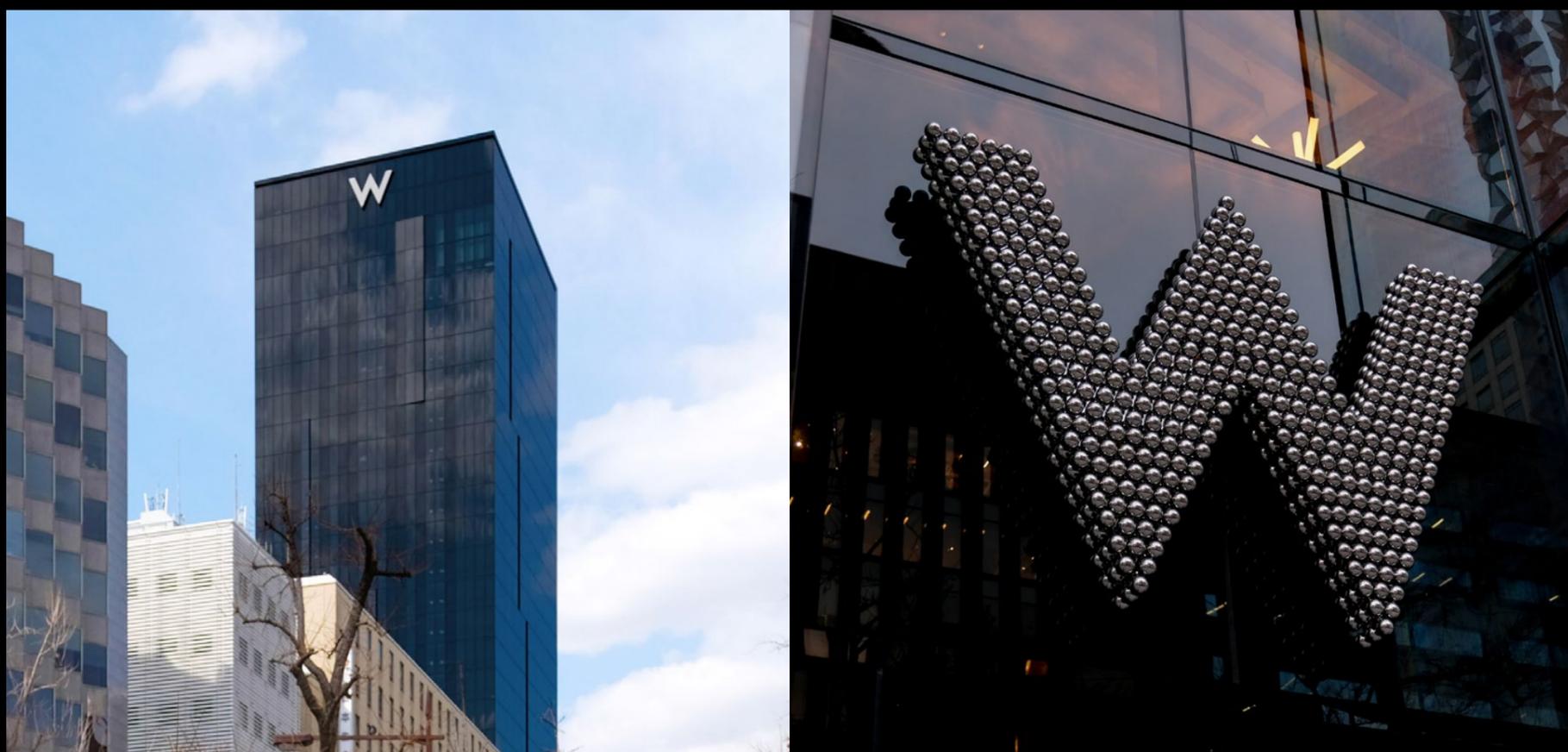


Bring out of Osaka essence through W lens.



Wブランドはマリオット・インターナショナルが展開する、ラグジュアリーライフスタイルホテルであり、24時間眠らない街・ニューヨークにて誕生しました。日本初進出となる W Osaka は 27 階建てのブラックボックスの中に、息をのむ程に美しい色彩・刺激的で大胆なデザイン・遊び心が詰め込まれています。

物件名

W Osaka

開業

2021 年 3 月

事業主

積水ハウス株式会社

運営

マリオット・インターナショナル

インテリア設計

concrete architectural associates

当社プロジェクト担当

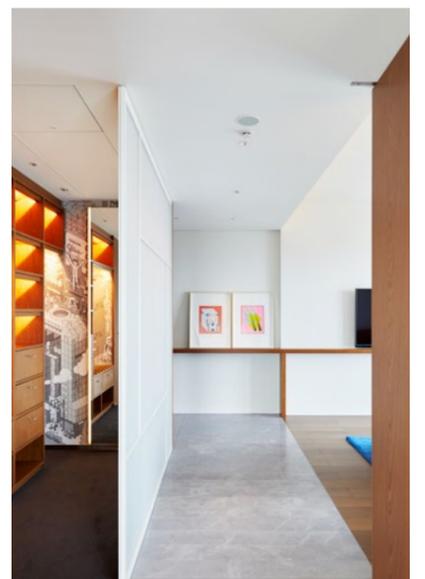
中嶋修介・吉谷郁恵



Interior Design: concrete architectural associates

オランダを拠点に活動するconcreteが手掛けたインテリアデザインのテーマは **"The true spirit of Osaka - extravagant simplicity"** - 豪華絢爛でモダンなもの、詫び寂びと伝統的で質素なもの、その両方からインスピレーションを得て、大阪の精神性を表現することでした。

大阪の名所・音・味・スリルを鋭く抽象化し、色彩・大胆なデザイン・ウィットな笑いへ落としこむ、唯一無二の視点と圧倒的な感性。Wのレンズ越しに見た新しいOsakaを表現すべく、ICAでは客室とスイートルーム、紹介制館店のアートを担当しました。豪華絢爛な装いと日本的ミニマリズムの対比、ウィットな笑い と技法・素材の本物性との対比で錯乱する大阪の熱気を表現しています。



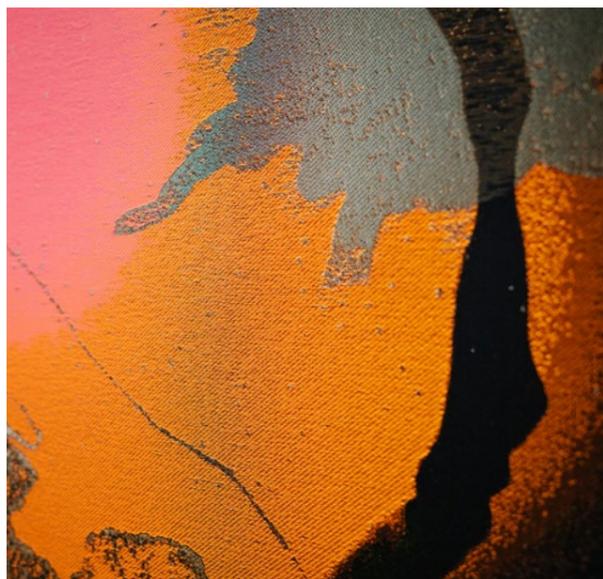
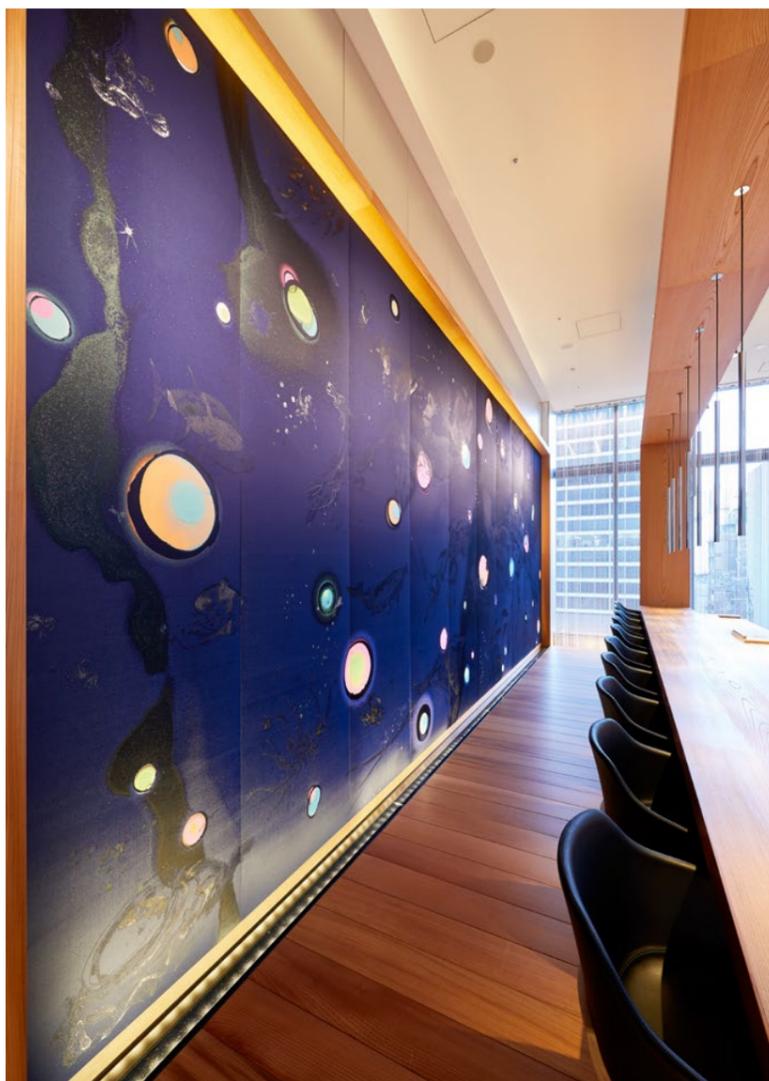
The Secret Sushi Bar: Lok Jansen

Wホテル初の鮨店に描かれた作品は、オランダ出身で神戸を拠点に活動するアーティスト、ロックヤンセンの作品です。concreteによる内装のデザインコンセプトである、浮世離れた世界を、水都大阪の隠喩として表現しています。

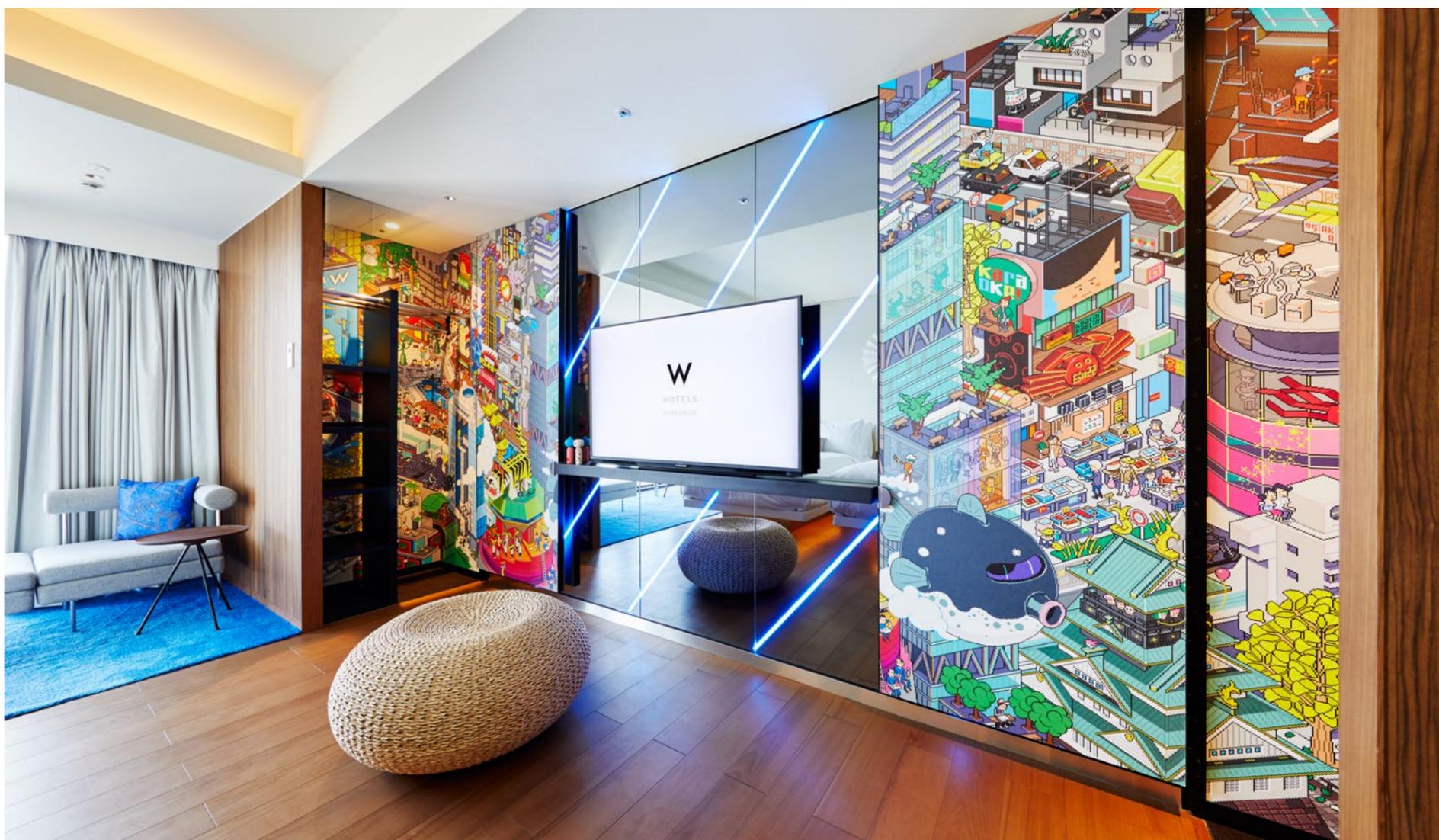
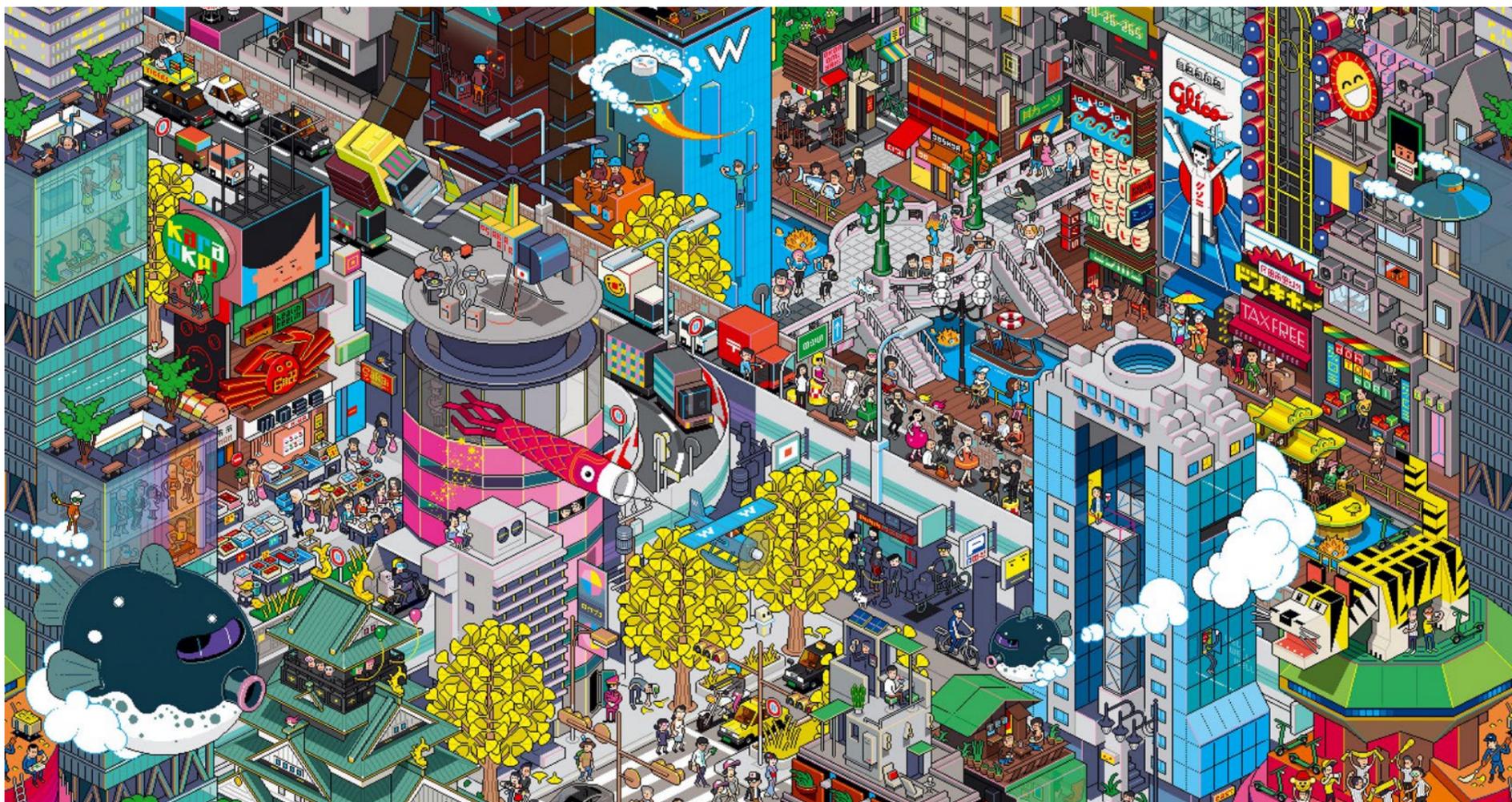
大阪はくいだおれの街として知られていますが、食を楽しむこと、食材、大阪発祥の出汁文化は大阪の歴史とアイデンティティであり、料理人とカウンター越しに生まれるコミュニケーション、隣に座る人との会話こそが大阪を形成する大きな要素だと言えます。言い換えれば大阪の料理とは、味を楽しむだけでなく、コミュニケーションを作ることではないでしょうか。



細いアプローチから7M先まで続く巨大なアートをゲストの視点で眺めると、全体からほんの一部分が切り取られた抽象画のように見えます。歩を進めるとX-rayで描かれた魚やプランクトン、海の波紋が幻想的に浮かび上がり、見る角度によって消えてゆきます。何が描かれているのかイメージしながら、料理人やゲスト同士で対話生まれる。ばらばらになったピースをパズルのようにつなぎ合わせて初めて完成するその経験・対話・時間こそが作品の意図であり、大阪の食文化を形成する核を再現しています。



作品に用いられた西陣織は、150年の歴史がある京都の織物メーカーが「金欄」と呼ばれるお袷袋などの法衣関係の織物を織る技術に応用して開発しました。見る角度によって絵が変わり、アニメーションのように動いたり立体に見える印刷技術、レンチキュラー印刷からインスピレーションを得た日本初のキンランファブリックです。伝統工芸にヒネリを加えるこのチャレンジは、鮨店の情熱とエネルギーを象徴するものとなりました。



Wardrobe: eBoy

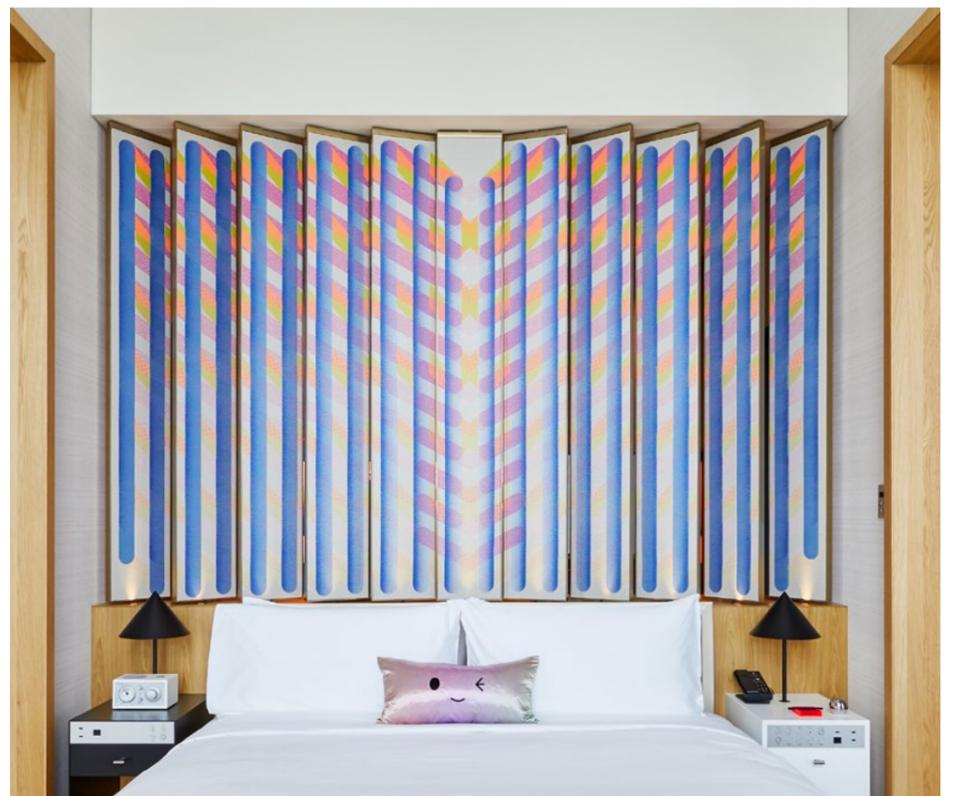
ピクセルアートのゴッドファーザーとして世界中のファンを魅了するeBoyによるデザイン。アイソメトリック図で世界中のアイコン的な都市を描く「Pixorama」シリーズをW Osakaに落とし込みました。

白いワードローブの扉を開けると、これぞ大阪というカオスでエネルギッシュ、大胆で刺激的な街並みがパノラミックに広がります。大阪の文化・アイコン・カラフルなストリートライフをウィットに分解し、「おもしろい」成分たっぷりの激辛スパイスで味付け。1,000,000ピクセル超の圧倒的な密度で描かれた熱狂的なピクセルアートです。訪れたことのある大阪のランドマークや、大阪の象徴であるおばちゃんファッションistaを探してみてください。

Extreme WOW Penthouse Suite / WOW Suite: Sigrid Calon

Extreme WOW Penthouse Suite / WOW Suiteの作品は、オランダ出身のテキスタイルアーティスト、シグリッド・カロンによってデザインされました。

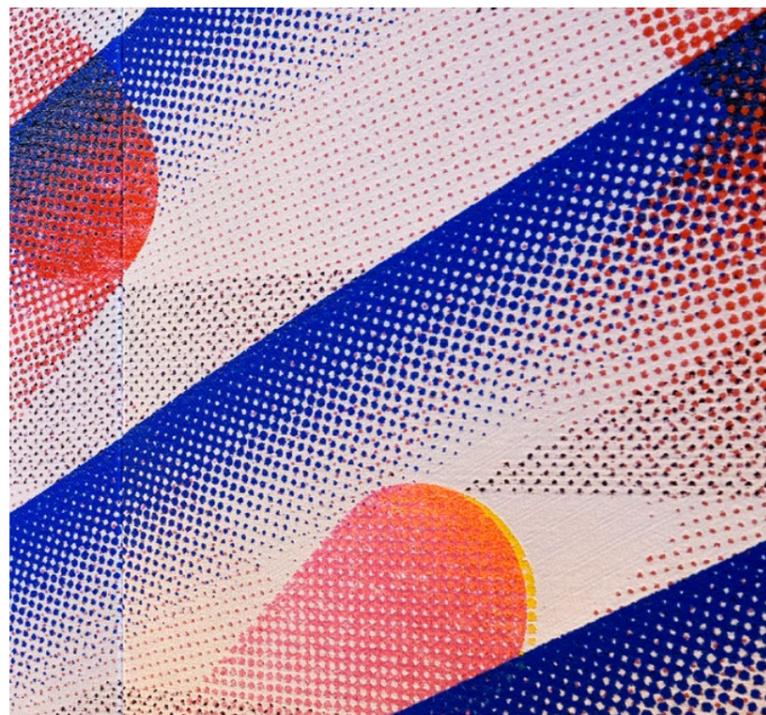
「大阪は個々の魅力を楽しむというよりは、場所全体の中で経験するものである」とアーティスト本人が語るように、アートワークも個と全体の関係性からデザインされています。一つの要素がアートを決定づけるのではなく、個の集合体として構成され、単体だけでは完結しない関係性をデザインすることが作品の大きなテーマとなっています。



作品を象徴する抽象的なモチーフは、言語の違いに関係なく理解されるものであり、抽象化の力、あるいは形と色彩の力とも説明できます。彼女の作品はイラストレーションではなく、具象でもありません。また、感情が表現されたものでもなく、そのすべてが抽象化のプロセスに還元されており、その解釈を観客に委ねながら作品とのコミュニケーションが生まれるよう意図しています。ズームイン・ズームアウトして得られる「神はディテールに宿る」視覚体験をW Osakaで。



ICA



素材はオランダのジャガード織と呼ばれる織物によって、ヨーロッパで最も精度と色再現の高い技術で製作されています。CMYKのプリント生地とは異なり、デザイン自体が生地に織り込まれています。グリッド上で色彩と形が遊ぶ、ユニークな質感のファブリックが完成しました。

ICA

Interculture Art Inc.

ICA Bldg. 4F, 560-2 Waseda-Tsurumakicho,
Shinjuku-ku, Tokyo 162-0041

t: +81(0)3-3207-3911

e: contact@intercultureart.com

intercultureart.com

©Interculture Art Inc.